

なかつがわ全市景気ウォッチャー調査

〈市内の景気の動向を接客や取引を通じて肌で感じている人たちによる客観的な景況感調査〉

平成23年11月調査結果

現在の景気の現状判断は、9月より13.6%ポイント改善の40.6%ポイントと、上向きに転じた判断となっています。

次に1年前と比べた場合の景気の前年判断では、9月と比べ13.7%ポイント改善し46.9%ポイントとなっています。

また、3ヶ月前と比べた場合の景気の前年判断では、9月と比べ10.5%ポイント改善し48.4%ポイントとなっています。

3～6ヶ月先の景気の前年判断では、9月と比べ15.3%ポイント改善し48.4%ポイントという上向きの予想となっています。

◎ 全体的には、円高を起因とした景気の足踏み状態が続いているものの、消費マインドや企業活動の持ち直しが見られたことから、景気が改善傾向に転じたものと思われます。

また、雇用については求人数が増加しているが、製造業での求人が伸びておらず、依然採用に慎重な姿勢が続いているものと思われます。

こうしたことから、景気の前年判断は「家計動向はやや好調であるが、持ち直しのテンポは緩やかになっている」ものと思われます。

平成23年12月14日

なかつがわ全市経済対策本部

調査の概要

○調査の目的

市内の景気の動向に関連のある人々の協力を得て、市内の景気動向を的確かつ迅速に把握し、景気動向判断の基礎資料とする。

○調査の対象

- 1 対象地域 市内全域
- 2 調査客体
家計動向、雇用等の代表的な経済活動に携わる、さまざまな業種の方々、45名

○調査事項

- 1 景気の現状に対する判断（方向性）
- 2 1の理由
- 3 2の追加説明及び具体的状況の説明
- 4 景気の先行きに対する判断（方向性）
- 5 4の理由

○調査の時期

調査は隔月、当月時点で、調査期間は毎月22日から月末まで(今回は12月13日まで)

○有効回答率

71.1% 有効回答客体 32名

○判断方法

日本銀行で発表している「主要(全国)企業短期経済観測調査」いわゆる「日銀短観」や内閣府で発表している「景気動向指数」に使われている経済指数をディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)略して「DI」といいます。

「DI」には、「日銀短観」で使われる単純に3つの選択肢、たとえば「良い」、「変わらない」、「悪い」を用意し、回答から%を求め「良い」の%から「悪い」の%を引いた指数(%ポイント)が0を境に0以上になれば景気回復、0以下になれば景気後退を示す方法と「景気動向指数」のように3つ以上の選択肢を用意し、その選択肢に均等に0~1の評価点を与え、それぞれの回答から%を求めそれぞれの評価点を乗じたものの合計を指数(%ポイント)として50を境に50以上になれば景気回復、50以下になれば景気後退を示す方法の二つが主に使われています。

前者に比べ後者の方が選択肢が幅広くなり、より正確な指数を得ることができます。

今回の調査は、選択肢を5つ用意していますので、「景気動向指数」と同じ後者の方法で判断するものとします。

1 DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
評価点	1	0.75	0.5	0.25	0

2 DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど景気後退傾向、逆に100に近づくほど景気回復傾向であることを示す。

100 ← 50 → 0
 良くなっている 変わらない 悪くなっている

例えば

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
調査結果	8	9	9	10	9
構成比(%)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI値	17.8	15	10	5.6	0
DI値(合計)	48.4			⇒	ほんの少し景気が後退している

となります。

調査の結果

1 現在の景気の現状判断

現在の景気の現状判断としては、9月より13.6%改善の40.6%と、上向きに転じた判断となっています。

内訳では、家計動向関連の小売関連で5.9%改善し27.3%、飲食観光関連で18.6%改善し55.0%、サービス関連では33.8%改善し43.8%とすべての項目で上向きの判断となっています。

また、雇用関連でも、9月より3.6%改善し39.3%と、上向きの判断となっています。

表1 11月構成比

	良い	やや良い	どちらとも言えない	やや悪い	悪い	未回答	D I 値
合計	9.4	3.1	37.5	40.6	9.4	0.0	40.6
家計動向関連	12.0	4.0	28.0	48.0	8.0	0.0	41.0
小売関連	0.0	0.0	27.3	54.5	18.2	0.0	27.3
飲食観光関連	30.0	10.0	10.0	50.0	0.0	0.0	55.0
サービス関連	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	43.8
雇用関連	0.0	0.0	71.4	14.3	14.3	0.0	39.3

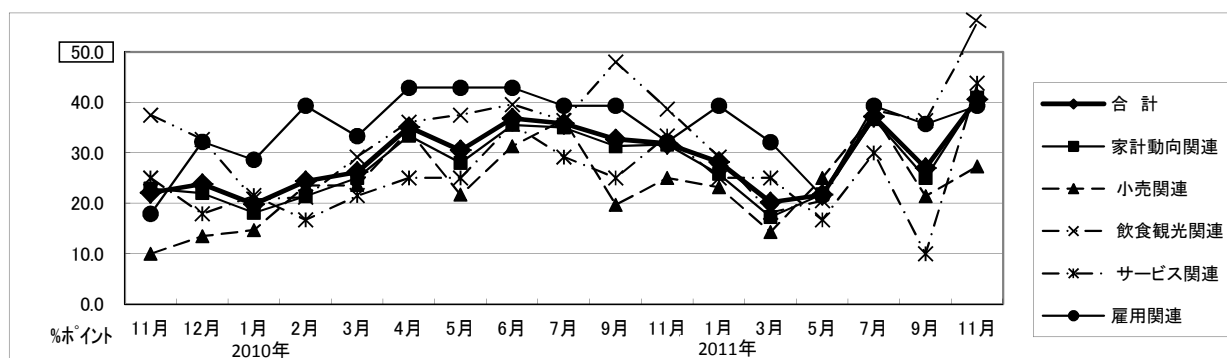
※「未回答」は、「どちらとも言えない」に見なしてD I 値を計算

表2 毎月の構成比

年	月	良い	やや良い	どちらとも言えない	やや悪い	悪い	未回答	D I 値
2011	1	0.0	5.1	28.2	41.0	25.7	0.0	28.2
	3	0.0	2.8	25.0	22.2	50.0	0.0	20.2
	5	0.0	0.0	23.7	39.5	36.8	0.0	21.7
	7	2.7	13.5	27.0	43.3	13.5	0.0	37.2
	9	0.0	2.7	35.1	29.8	32.4	0.0	27.0
	11	9.4	3.1	37.5	40.6	9.4	0.0	40.6
	(前月差)	(9.4)	(0.4)	(2.4)	(10.8)	(-23.0)	(0.0)	(13.6)

表3 D I 値の推移

	2011年							(前月差)
	1月	3月	5月	7月	9月	11月		
合計	28.2	20.2	21.7	37.2	27.0	40.6	(13.6)	
家計動向関連	25.8	17.3	21.8	36.7	25.0	41.0	(16.0)	
小売関連	23.2	14.3	25.0	37.5	21.4	27.3	(5.9)	
飲食観光関連	29.2	18.2	20.5	38.5	36.4	55.0	(18.6)	
サービス関連	25.0	25.0	16.7	30.0	10.0	43.8	(33.8)	
雇用関連	39.3	32.1	21.5	39.3	35.7	39.3	(3.6)	



2-1 1年前と比べた場合の景気の現状判断

1年前と比べた場合は、9月に比べ13.7%改善の46.9%と、上向きに転じた判断となっています。

内訳では、家計動向関連の小売関連で9.1%改善し34.1%、飲食観光関連で21.1%改善し57.5%、サービス関連で22.5%改善し37.5%とすべての項目で上向きの判断となっています。

また、雇用関連では、9月と同様の57.2%と、横ばいを示す判断となっています。

表1 11月構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている	未回答	D I 値
合計	6.2	9.4	50.0	34.4	0.0	0.0	46.9
家計動向関連	8.0	4.0	44.0	44.0	0.0	0.0	44.0
小売関連	0.0	0.0	36.4	63.6	0.0	0.0	34.1
飲食観光関連	20.0	10.0	50.0	20.0	0.0	0.0	57.5
サービス関連	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	37.5
雇用関連	0.0	28.6	71.4	0.0	0.0	0.0	57.2

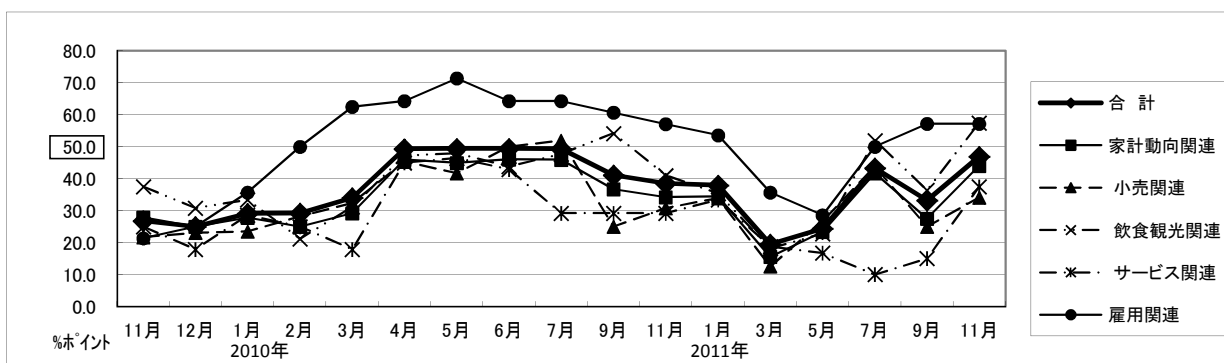
※「未回答」は、「変わらない」に見なしてD I 値を計算

表2 毎月の構成比

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている	未回答	D I 値
2011	1	0.0	18.0	33.3	30.8	17.9	0.0	37.9
	3	0.0	5.6	11.1	38.9	44.4	0.0	19.5
	5	0.0	5.3	18.4	44.7	31.6	0.0	24.4
	7	8.1	19.0	27.0	29.7	16.2	0.0	43.3
	9	0.0	19.0	21.6	32.4	27.0	0.0	33.2
	11	6.2	9.4	50.0	34.4	0.0	0.0	46.9
	(前月差)	(6.2)	(-9.6)	(28.4)	(2.0)	(-27.0)	(0.0)	(13.7)

表3 D I 値の推移

	2011年						
	1月	3月	5月	7月	9月	11月	(前月差)
合計	37.9	19.5	24.4	43.3	33.2	46.9	(13.7)
家計動向関連	34.4	15.5	23.4	41.7	27.5	44.0	(16.5)
小売関連	33.9	12.5	26.8	43.7	25.0	34.1	(9.1)
飲食観光関連	35.4	18.2	22.8	52.0	36.4	57.5	(21.1)
サービス関連	33.4	18.8	16.7	10.0	15.0	37.5	(22.5)
雇用関連	53.6	35.7	28.6	50.0	57.2	57.2	(0.0)



2-2-1 3ヶ月前と比べた場合の景気の現状判断

3ヶ月前と比べた場合は、9月に比べ10.5%ポイント改善の48.4%ポイントと、上向きに転じた判断となっています。

内訳では、家計動向関連の小売関連で16.4%ポイント改善し43.2%ポイント、飲食観光関連で9.5%ポイント改善し55.0%ポイント、サービス関連では7.5%ポイント改善し37.5%ポイントとすべての項目で上向きの判断となっています。

また、雇用関連では、9月と同様の53.6%ポイントと、横ばいを示す判断となっています。

表1 11月構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている	未回答	D I 値
合計	3.1	9.4	59.4	21.9	0.0	6.2	48.4
家計動向関連	4.0	8.0	52.0	28.0	0.0	8.0	47.0
小売関連	0.0	0.0	72.7	27.3	0.0	0.0	43.2
飲食観光関連	10.0	20.0	30.0	20.0	0.0	20.0	55.0
サービス関連	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	37.5
雇用関連	0.0	14.3	85.7	0.0	0.0	0.0	53.6

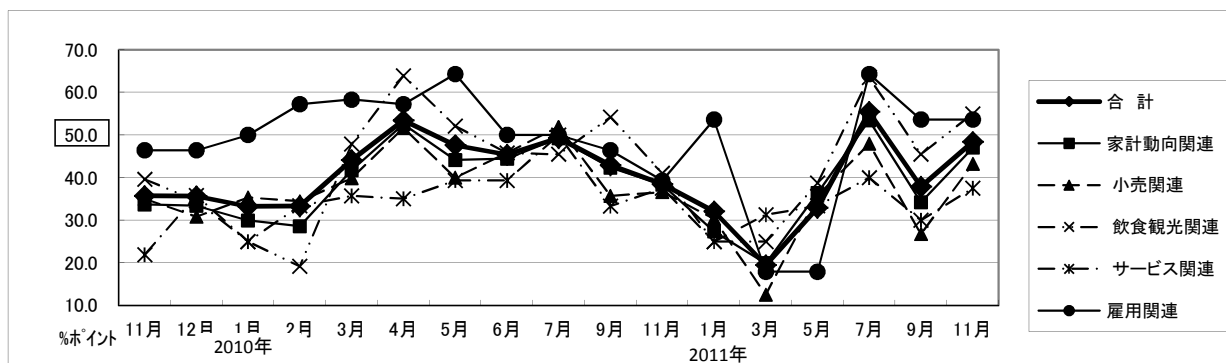
※「未回答」は、「変わらない」に見なしてD I 値を計算

表2 毎月の構成比

年	月	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている	未回答	D I 値
2011	1	0.0	5.2	41.0	25.6	25.6	2.6	32.1
	3	2.8	0.0	16.7	33.3	47.2	0.0	19.5
	5	2.6	13.2	18.4	44.7	21.1	0.0	32.9
	7	8.1	27.1	40.5	21.6	0.0	2.7	55.4
	9	0.0	13.6	37.8	35.1	13.5	0.0	37.9
	11	3.1	9.4	59.4	21.9	0.0	6.4	48.4
	(前月差)	(3.1)	(-4.2)	(21.6)	(-13.2)	(-13.5)	(6.4)	(10.5)

表3 D I 値の推移

	2011年						(前月差)
	1月	3月	5月	7月	9月	11月	
合計	32.1	19.5	32.9	55.4	37.9	48.4	(10.5)
家計動向関連	27.4	19.9	36.4	53.4	34.2	47.0	(12.8)
小売関連	30.4	12.5	35.8	47.9	26.8	43.2	(16.4)
飲食観光関連	25.0	25.0	38.7	63.5	45.5	55.0	(9.5)
サービス関連	25.0	31.3	33.4	40.0	30.0	37.5	(7.5)
雇用関連	53.6	17.9	17.9	64.3	53.6	53.6	(0.0)



2-2-2 3ヶ月前と比べた場合の景気の判断理由

判断の理由として家計動向関連の小売関連では、購買意欲の持ち直しによる売上の増加などから「販売量の動き」が54.5%と多くなっています。

飲食観光関連では、来客者の増加などから「来客数の動き」が70.0%と高くなっています。

サービス業関連では、来客者の増加などから「来客数の動き」が75.0%と高くなっています。

次に、雇用関連では、企業の採用に慎重な動きなどから「求人数の動き」、「周辺企業の様子」がそれぞれ42.9%、と多くなっています。

	①来客数の動き	②販売量の動き	③単価の動き	④お客様の様子	⑤競争相手の様子	⑥それ以外
家計動向関連	60.0	28.0	20.0	24.0	8.0	4.0
小売関連	45.5	54.5	27.3	18.2	18.2	0.0
飲食観光関連	70.0	10.0	20.0	30.0	0.0	0.0
サービス関連	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0
	①求人数の動き	②求職者数の動き	③採用者数の動き	④雇用形態の様子	⑤周辺企業の様子	⑥それ以外
雇用関連	42.9	0.0	0.0	14.3	42.9	14.3

※複数回答による割合

3 3～6ヶ月先の景気の先行き判断

景気の先行きについては、円高を起因とした足踏み状態が続く一方で、消費マインドや企業活動の持ち直しが見込まれ、9月に比べ15.3%ポイント改善して、48.4%ポイントと上向きを示す予想となっています。

内訳では、家計動向関連の小売関連で15.5%ポイントの改善を見込み38.7%ポイント、飲食観光関連でも18.4%ポイントの改善を見込み52.5%ポイント、サービス関連では21.3%ポイントの改善を見込み56.3%ポイントという予想となっています。

また、雇用関連では、9月に比べ3.6%ポイント改善の53.6%ポイントと上向きを示す予想となっています。

表1 11月構成比

	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	未回答	D I 値
合計	3.1	15.6	43.8	15.6	6.3	15.6	48.4
家計動向関連	4.0	12.0	40.0	16.0	8.0	20.0	47.0
小売関連	0.0	0.0	36.4	27.3	9.0	27.3	38.7
飲食観光関連	10.0	20.0	40.0	10.0	10.0	10.0	52.5
サービス関連	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	56.3
雇用関連	0.0	28.6	57.1	14.3	0.0	0.0	53.6

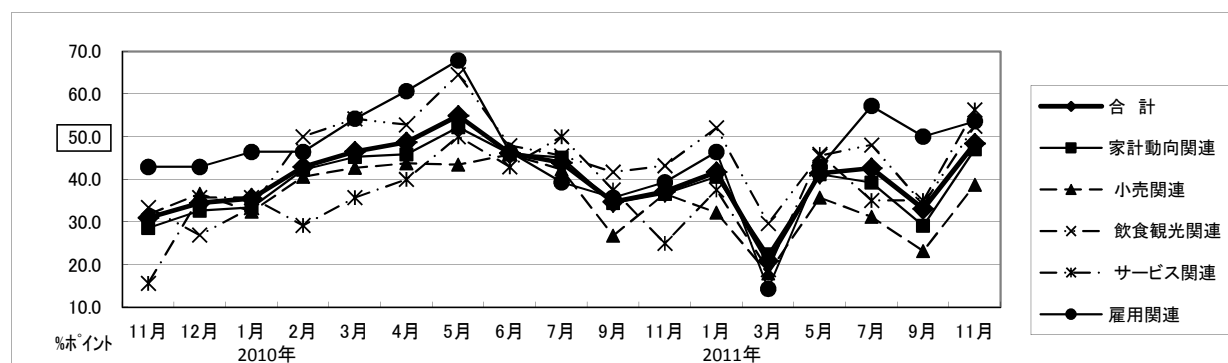
※「未回答」は、「変わらない」に見なしてD I 値を計算

表2 毎月の構成比

年	月	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	未回答	D I 値
2011	1	5.1	15.4	33.3	28.2	15.4	2.6	41.7
	3	0.0	11.1	13.9	22.2	52.8	0.0	20.8
	5	2.6	18.4	34.2	21.1	18.4	5.3	41.4
	7	5.4	13.5	37.9	32.4	10.8	0.0	42.6
	9	0.0	8.1	35.2	32.4	21.6	2.7	33.1
	11	3.1	15.6	43.8	15.6	6.3	15.6	48.4
	(前月差)	(3.1)	(7.5)	(8.6)	(-16.8)	(-15.3)	(12.9)	(15.3)

表3 D I 値の推移

	2011年						
	1月	3月	5月	7月	9月	11月	(前月差)
合計	41.7	20.8	41.4	42.6	33.1	48.4	(15.3)
家計動向関連	40.6	22.4	41.2	39.2	29.1	47.0	(17.9)
小売関連	32.2	17.9	35.7	31.2	23.2	38.7	(15.5)
飲食観光関連	52.1	29.6	45.5	48.1	34.1	52.5	(18.4)
サービス関連	37.5	18.8	45.9	35.0	35.0	56.3	(21.3)
雇用関連	46.4	14.3	42.9	57.2	50.0	53.6	(3.6)



景気の現状判断の理由

分野	景気の判断		調査対象	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	3ヶ月前	1年前			
家計	良くなっている	変わらない	居酒屋	単価の動きとお客様の様子	年末になると単価がかなり上がる。来店しているお客様が常連様が多いので一年間の信用が年末に評価として、当店をつかっていただけるのかもしれない。
	やや良くなっている	やや良くなっている	レストラン	お客様の様子	10月～11月はメディアに取り上げられる事が多く、市外からのお客様が増えました。特に、11月は「新そば」の時期で例年以上の入込客で売上が過去最高を記録しました。
動向		やや悪くなっている	旅館	来客数の動き	昼間の駅前飲食店は特産館効果で上向き。夜間の飲食業界は下向き。
	変わらない	良くなっている	観光案内所	来客数、販売量の動き	お客様の幅が広くなり、栗きんとんソフトも好評である。
関連		変わらない	小売店	販売量の動き	競争相手が増える。
			小売店	-	-
			小売店	-	-
			自動車販売	販売量の動きとお客様の様子	-
			レストラン	来客数の動き	-
			ホテル	来客数の動き	-
			福祉施設	来客数の動き	夏頃に比べ、生活福祉資金の相談者数が増加した。
			タクシー運転手	来客数の動き	乗客数があまりない。特に日曜日、街に歩く人がいない。
		やや悪くなっている	商店街関係者	来客数、販売量の動き	-
			小売店	単価の動き	高い物が売れない。
		スーパー	来客数の動き	-	
		小売店	-	-	
	やや悪くなっている	変わらない	食堂	来客数、単価の動き	観光客の動きが少なくなり、夜は若者を見かけるが中年以上が少ないようです。
		やや悪くなっている	小売店	来客数、販売量の動き	-
			小売店	来客数、販売量の動き	-
			小売店	来客数、販売量、単価の動きとお客様、競争相手の様子	-
			居酒屋	来客数の動き	毎年ですが寒くなると来客数が減ります。また、寒さになれてくると多くなると思います。忘年会のシーズンですが、二次会が少なくなると思います。若い人はスナックばなれだと思います。

			金融機関	お客様の様子	建設業界では、公共工事の受注が大きく落ち込んでおり、仕事がない状況にある。
			理容店	来客数の動き	-
	-	良くなっている	道の駅	来客数の動き	市内および近隣市町村の来客数が増えている。
		変わらない	道の駅	お客様の様子	食品以外の品物について、欲しい気持ちがあっても我慢してしまうお客様が多い。
雇用 関 連	やや良くなっている	変わらない	人材派遣会社	周辺企業の様子	①このところ景気回復感が表れ、有効求人倍率も徐々に上昇している。②しかしながら、正社員の雇用は旧態依然として伸び悩んでおり、この先の尚、厳しさが予測される。
	変わらない	やや良くなっている	労働相談所	周辺企業の様子	タイの洪水による生産活動の影響が若干発生している。
			自治体労働政策担当	雇用形態、周辺企業の様子	パートを中心に有効求人倍率が高水準で推移している。製造業を中心に停滞期間が続いているように感じる。
	変わらない	変わらない	職業安定所	求人数の動き	新規求人数自体は増加しているが、主要産業の製造業では伸びておらず、数字のような求人意欲の高まりは全く感じられない。
			労働金庫	周辺企業の様子	-
			学校就職担当	求人数の動き	-
			学校就職担当	求人数の動き	高卒求人を毎日インターネットで調べているが、新規の求人は少ない。

景気の先行き判断の理由

分野	景気の判断	調査対象	追加説明及び具体的状況の説明
家 計 動 向 関 連	良くなる	観光案内所	にぎわい特産館中津川観光センターが、中津川駅前の名所になりつつある感じがする。
	やや良くなる	道の駅	ファンづくり。
		金融機関	リニア関連の動きが顕在化してくると考えられるため。
	変わらない	食堂	来年になり、工業関係が順調に動けばと思う。
		小売店	-
		小売店	良くなる理由が見当たらない。
		スーパー	-
		小売店	-
		道の駅	何とも良くわからない。
		レストラン	良くなる要素、悪くなる要素も無いから。
		居酒屋	年配の常連さんが足をはこんでくださるので、変わらないと思います。
		ホテル	-
		福祉施設	東日本大震災の復興が進んでいない。
	タクシー運 転手	このままでは、という感じです。年末の町内の人の買い出し等に期待するしかない。	
やや悪くなる	商店街関係者	商店街が年々静かになっていき大型店に流れてしまう。	
	小売店	-	
	自動車販売	-	
	レストラン	-	
悪くなる	小売店	-	
	居酒屋	12月の予約がさみしいので・・・。忙しい時期にさみしいのは良くなると思えません。	
-	旅館	忘・新年会は例年並みか以下ではないかと期待薄す。2月は、更に状況は期待薄す。	
雇 用 関 連	やや良くなる	労働金庫	震災復興に対する需要が今後増加すると思われる。一部企業や中小企業（繊維関係）において年末・年始も無いほど需要がある。
		人材派遣会社	①自動車メーカーの復旧の動きが本格化し始めた。②反面、雇用（新規採用）の面では企業が慎重を期しており、明るい兆しが見えない。
	変わらない	学校就職担当	-
		学校就職担当	これ以上悪くなるような材料は見あたらないので、このままの状況がつづくと思う。
	労働相談所	全国的には雇用状況が良くなっていない。但し中津川管内は、有効求人倍率1.20（10月）と県内で最も高い。	

	自治体労働 政策担当	国の補正予算による効果が見込めないが、現状の停滞期間が長く続く ような心配がある。
やや悪くなる	職業安定所	震災後回復基調にあった製造業の状況が、タイの洪水等により下降基 調にあると感じられる。